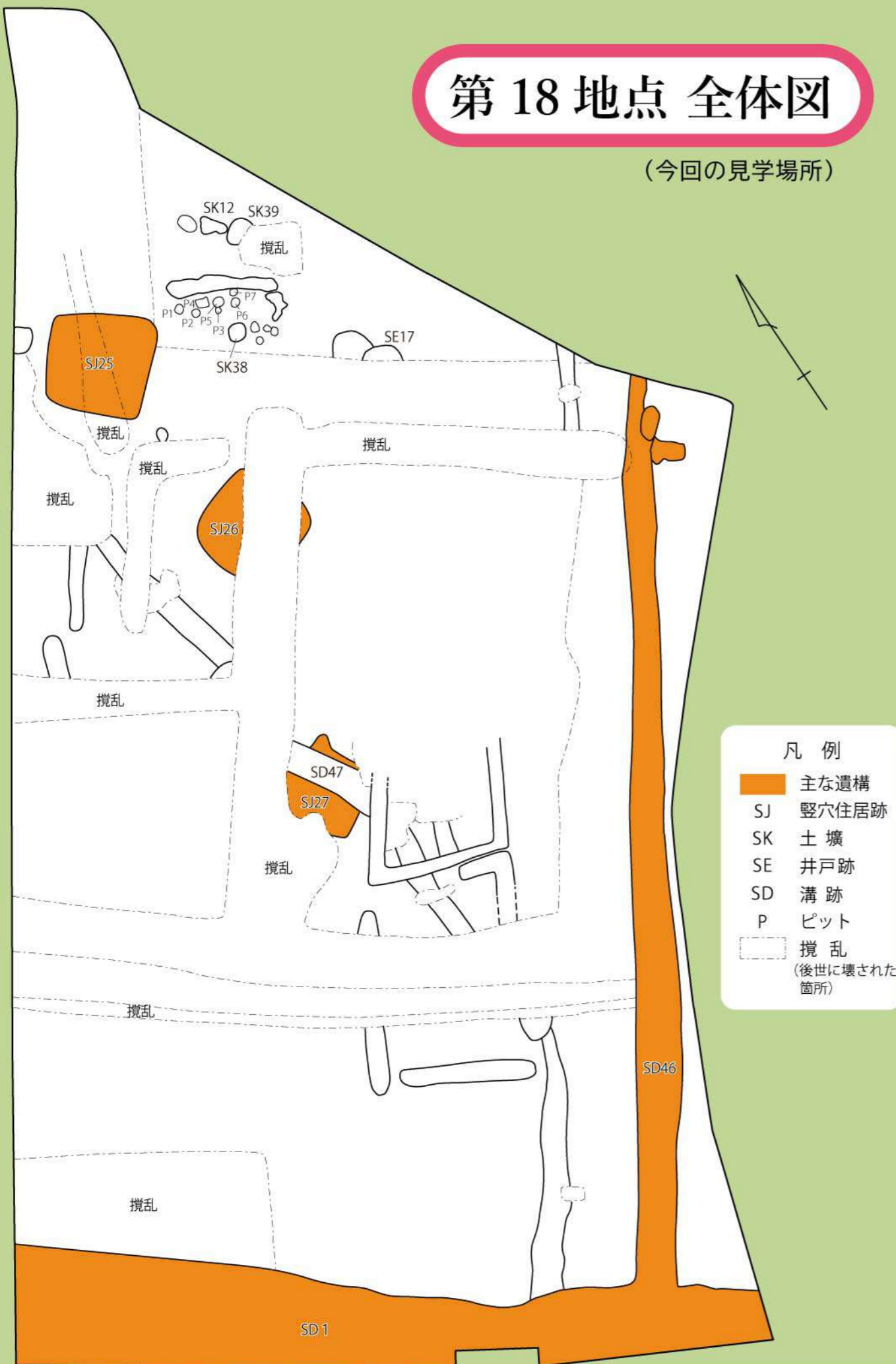


へいえもん
鴻巣市 平右衛門遺跡 (第4次)

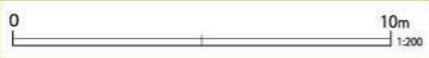
第18地点全体図

(今回の見学場所)



- 凡例
- 主な遺構
 - SJ 竪穴住居跡
 - SK 土壌
 - SE 井戸跡
 - SD 溝跡
 - P ピット
 - 攪乱
(後世に壊された箇所)

中山道 (県道 365号)



平右衛門遺跡は、大宮台地の北端部の鴻巣市箕田^{みだ}に立地する集落遺跡です。上尾道路の建設に先立ち令和元年度から発掘調査を実施しています。昨年度までに、古墳時代から平安時代にかけての竪穴住居跡、中・近世の竪穴状遺構と溝跡、そして火葬跡などが発見されました。

今年度の発掘調査は、2地点(第16・17地点)が終了し、古墳時代の竪穴住居跡や、中・近世の土壌と井戸跡、溝跡などが見つかりました。現在、調査を行っている第18地点では、中山道よりも前に掘られた大溝が中山道と並行して見つかっています。

今回の遺跡見学会では、この第18地点の成果を御覧頂きます。

主催 公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団 共催 埼玉県教育委員会
後援 鴻巣市教育委員会

空からみた平右衛門遺跡 (2022年3月3日撮影)



全 景

古墳時代の竪穴住居跡や中世の大溝などが見つかりました。



古墳時代の住居跡

地面を掘りくぼめた竪穴住居跡で、カマドを壁に造りつけています。



カマド



第 16 地点



全 景

中世の細い溝跡や近世以降の井戸跡が見つかりました。

第 17 地点



JR 高崎線



発掘調査の様子

移植ごてで遺構を丁寧に掘り下げています。



かわらけ



中世の溝跡

東西方向の溝跡が並走しています。かわらけと呼ばれる素焼きの土器が出土しました。

第 18 地点
(今回の見学場所)

至鴻巣駅

至北本

中山道

至北鴻巣駅